

“シングルライフ”に関するお悩み

こんにちは！！私は35歳東京都在住の独身女です。32歳のときに、会社を興し、今はだいたい年収3000万ぐらい稼いで、俗に言う“シングルライフ”を楽しんでいるところです。しかし、両親はそんな私の状態が心配みたいで、会うたびに「結婚」のことを言ってきます。まあ、それなりにボーイフレンドはいるんですが、まだまだやりたいこともいっぱいあるし、お金にも生活にも困ってないので、結婚の必要性は感じていません。それに、私、家事とかがてんでだめだし、自分が主婦になるのが全然想像できません。でも、一生独り身というのもさみしい気がしますし、自分が老いて今のように男性を選べない気もしているので、早く結婚した方がいいのかと思うときもあります。自分でわがままだっただけわかってはいるんですが、私はどうしたらいいんでしょうか？アドバイスお願いします。（会社社長 麗子さん 35歳）

<回答>

こんにちは麗子さん。お悩み投稿ありがとうございます。年収3000万円、すごいですね。お悩みに関してですが、現在のあなたは、実は独身であることのプラス面（「効用」といいます）とマイナス面（「費用」といいます）を比較しているのです。

独身でいることの効用は、あなたの場合3000万円の年収や、やりたいことができるということなどからもたらされるものでしょう。それと同時に費用も発生しています。あなたの場合は生涯結婚できないことに対する不安や、親からのプレッシャーや期待などですよ。

現時点では、あなたはシングルライフを謳歌しています。つまりあなたは、独身でいることに対して費用よりも効用を多く見出しているということです。だからあなたは独身を選んでいるのです。しかし想像してみてください。あなたの5年後、10年後、20年後を…。あなたは独りだからこそ得られるお金、やりたいことが出来たことに対しての喜びが年々減少していくでしょう。このように効用が次第に減っていくことを「**限界効用逓減の法則**」と呼びます。一方、年を重ねるにつれて親からのプレッシャーが強くなったり、自分が老いて男性を選べなくなったり、独りであることに対する費用が増えていく（「**限界費用逓増**」）と考えられます。ですから、将来的に『あなたの独りでいることに対する効用が費用に一致する時に結婚する』のがベストな選択だと思いますよ。というのは、次の一年に得られる効用とかかる費用が一致するポイントを過ぎると独りでいることのマイナス面の方が高くなってしまうからです。

ところで麗さんは家事がてんでだめで、自分が主婦になることが全然想像できないとおっしゃっていましたね？人間にはやはり得意なものと得意でないものがあります。麗さんは年収3000万円ということからもわかるように、家事よりも仕事の方が得意のようですね。逆に世の中には麗さんに比べて、仕事よりも家事の方が得意だという男性もい

るはずですが。このような場合、麗子さんは仕事に「**比較優位**」があり、その男性は家事に「**比較優位**」があるといいます。それぞれ得意な方に専念（「**特化**」）すれば、お互いにより良い生活ができそうじゃありませんか？最近では主婦ならぬ「主夫」という言葉も使われているように、夫が家事をし、妻が稼ぐという夫婦も増えているようです。麗子さんもそんな家庭的な男性とお付き合いしてみてもいいかがですか？